

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL

# 佐竹由美ソプラノリサイタル

英米歌曲シリーズ Vol.3 ❖ 続 G.C.メノッティとS.バーバー

# GIAN CARLO

G.C.メノッティ ❖ 「遙かなる歌」 オペラ『霊媒』より オペラ『電話』より

# MENOTTI



佐竹由美  
SOPRANO

江口玲  
PIANO



# SAMUEL

S.バーバー ❖ 「それでもなお」Op.41 「ノックスヴィル:1915年の夏」Op.24

# BARBER

主催❖ N&A design 後援・マネジメント❖ 公益財団法人東京二期会 助成❖ 一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団

料金❖ 全自由席4,500円(税込) チケット販売・お問合せ❖ 二期会チケットセンター03-3796-1831 (平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休)  
チケット販売❖ 東京文化会館チケットサービス03-5685-0650 朝日ホールチケットセンター03-3267-9990

2011年11月2日[水] 開演❖ 19:00 開場❖ 18:30 浜離宮朝日ホール

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL  
GIAN CARLO & SAMUEL  
MENOTTI & BARBER  
佐竹由美ソプラノリサイタル

続 G.C. メノッティと S. バーバー

英米歌曲シリーズ Vol.3

ヨーロッパ音楽を範として発展してきたアメリカの音楽界は、20世紀を迎え「アメリカ独自の音楽とはなにか」を模索し、新しい世代の作曲家が次々と登場する。メノッティとバーバーもそんな時代の中に生まれた代表的な作曲家である。ただふたりは比較的保守派として人々に認知されていた。そのふたりの作品に共通して見られるものが「声」に対する拘りであろう。

メノッティは、その当時新しい作品を求めがあまり声を楽器のように不自然に扱う手法に不快感を表していたし、バーバーはテキストから溢れ出る感情を人間的な声を通して自然に表現することに拘ったのである。ふたりの作品からは、詩の明瞭な表現と豊かな声の響きによって紡ぎだされる叙情美に溢れている。

メノッティ生誕100年を迎える今年は、昨年に引き続きメノッティとバーバーの作品を取り上げ演奏する。メノッティがソプラノのE.シュワルツコプフのために作曲したイタリア語のテキストによる「遙かなる歌」、そしてよく同時上演されていたオペラ『霊媒』と『電話』より、またバーバーがJ.エイジの郷愁的な詩に、自らの子供時代を重ね深く感動し作曲した「ノックスヴィル:1915年の夏」、およびソプラノのL.プライスのために作曲した「それでもなお」。1歳違いであり音楽人生を共に過ごしたこの二人の代表的な秀作をどうぞお楽しみください。

ARTIST PROFILE

佐竹由美 SATAKE, NAOMI

SOPRANO

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。ライブツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。また各地でのリサイタルや日本歌曲などのコンサート活動をはじめ、現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。大学院博士課程においてはS.バーバー、A.コープランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会などにおいて主要キャストとして活躍、近年はテュスティ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年2月より文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。

2005年ソロアルバム『A Lei ~ あなたへ』、2008年『A Singing Bird~歌う小鳥』(日本アコースティックレコード)をリリース。その他『世界の愛唱歌』・『ジョイフル・クリスマス』(キングレコード)、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II・III(東京書籍)、『バッハ幻の結婚カンタータ』(毎日クラシックス)、シューマンオラトリオ『楽園とペーリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』などがある。

よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員  
オフィシャル・ウェブサイトwww.satakes.com/

江口玲 EGUCHI, AKIRA

PIANO

東京芸大附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業したのち、ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。現在、欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍している他、ギル・シャム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くのヴァイオリニスト達と共演している。数多くのレコーディングでも高い評価を得ており、2009年には「ライヴ!ソナタ集」と「ライヴ!小品集」を発売、その2枚ともがレコード芸術誌から特選盤に選出、続く最新盤、「Dear Chopin」も同じく特選盤に選出され、2009年以降4枚連続選出の快挙となった。現在は東京、ニューヨークと二つの拠点を行き来し、国際的な活躍を続ける。現在、ニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭を執るほか、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学准教授を務めている。  
オフィシャル・ウェブサイトwww.akiraeguchi.com

PROGRAM

S.バーバー  
Samuel Barber

- 「それでもなお」作品41  
“Despite and Still” Op.41  
1. A Last Song  
2. My Lizard (Wish for a Young Love)  
3. In the Wilderness  
4. Solitary Hotel  
5. Despite and Still

G.C. メノッティ  
Gian Carlo Menotti

- 「遙かなる歌」  
“Canti della Lontananza”  
1. Gli Amanti Impossibili  
2. Mattinata di Neve  
3. Il Settimo Bicchiere di Vino  
4. Lo Spettro  
5. Dorme Pegaso  
6. La Lettera  
7. Rassegnazione

G.C. メノッティ  
Gian Carlo Menotti

オペラ『霊媒』より  
モニカのワルツ  
Monica's Waltz  
from “The Medium”

G.C. メノッティ  
Gian Carlo Menotti

オペラ『電話』より  
まあ、マーガレット、あなたなの  
Hello! Oh, Margaret, it's you  
from “The Telephone”

S.バーバー  
Samuel Barber

「ノックスヴィル:1915年の夏」作品24  
Knoxville: Summer of 1915 Op.24